

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	山田町における防災まちづくりの推進（防災・安全）											
計画の期間	平成31年度～令和02年度（2年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	山田町											
計画の目標	山田町は、東日本大震災クラスの津波に対して住宅地の浸水被害を軽減するため、田の浜地区防災緑地公園を平成30年5月に緩衝緑地として整備しているが、台風第19号による令和元年10月12日からの総雨量343mmを記録する豪雨により本公園が被災したため、防災機能の強化を図る必要がある。そこで、防災緑地公園の排水機能を強化するために、公園内の雨水排水施設を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	480	A	480	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和01		令和02
1	令和元年台風第19号で浸水被害のあった田の浜地区について、防災緑地公園の雨水排水機能の強化を図ることにより、浸水区域の解消を図る。 台風第19号規模の降雨に対する浸水区域の解消を図る。	7ha	ha	0ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	山田町	直接	山田町	-	-	田の浜地区都市防災総合 推進事業	雨水排水施設	山田町						480		-
											小計						480		
											合計						480		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本整備総合交付金事業の事後評価として山田町で実施

事後評価の実施時期

令和5年3月

公表の方法

山田町ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

田の浜地区防災緑地公園は、台風第19号による令和元年10月12日からの総雨量343mmを記録する豪雨により、本公園が被災したため、防災機能強化をするために、公園内の雨水排水施設を整備し、浸水区域7.0haの解消を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	0ha
	最終実績値	0ha